

1. 授業の概要(ねらい)

心理学的支援の実践では、心理的苦悩など、心理的なニーズを多面的にアセスメントし、そのうえで、具体的なアプローチや介入につなぐことが求められる。ここでは、家庭、学校、職場、地域におけるさまざまなメンタルヘルス上のことがらをとりあげ、心理支援としてどのようなことが考えられるのかを、検討していく。複数の文献を調べ、発表する、考察する、といったプロセスを通して、理解を深めることをねらいとする。

2. 授業の到達目標

自ら関心を抱いたテーマについて、主体的に調べ、自分の意見・考えをまとめて発表する力、自分の意見を述べ、他者の意見をきき、より深く関連づけて理解する力を養うことをめざす。

3. 成績評価の方法および基準

授業内の発表やコメントにて総合評価を行う。

4. 教科書・参考文献

参考文献
適宜紹介する。

5. 準備学修の内容

関連のテーマについて自ら主体的に文献を調べ、深く読み、理解をした上で、レジュメを作成し、プレゼンテーションに臨むことが求められる。

6. その他履修上の注意事項

授業の進行状況によって、授業計画には若干の変更がありうる。
※授業においては、他受講者に迷惑をかけることはおこなわないこと。

7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクション
- 【第2回】 発表に向けて
- 【第3回】 問題を理解する(異常心理学)
- 【第4回】 問題を理解する(ライフサイクルと心理的問題)
- 【第5回】 問題を理解する(発達過程で生じる障がいや問題)
- 【第6回】 問題への介入(理論,個人)
- 【第7回】 問題への介入(集団・社会,コミュニティにおける相談活動)
- 【第8回】 コミュニティ心理学(家庭・地域における実践,学校・教育の場における実践)
- 【第9回】 コミュニティ心理学(産業,保健医療,福祉での実践,多文化コミュニティを支える実践他)
- 【第10回】 保健医療分野における理論の展開と業務・実践
- 【第11回】 福祉分野における理論の展開と業務・実践
- 【第12回】 教育分野における理論の展開と業務・実践
- 【第13回】 司法・犯罪分野における理論の展開と業務・実践
- 【第14回】 産業・労働分野における理論の展開と業務・実践
- 【第15回】 まとめ